



アーキテクチャ図

Baffle DPS による HYOK ソリューションによるデータの保護



Baffle DPS による HYOK ソリューションによるデータの保護: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Baffle DPS を使用した HYOK i

 Baffle DPS による HYOK ソリューションによるデータの保護 1

 詳細情報 2

 図の履歴 2

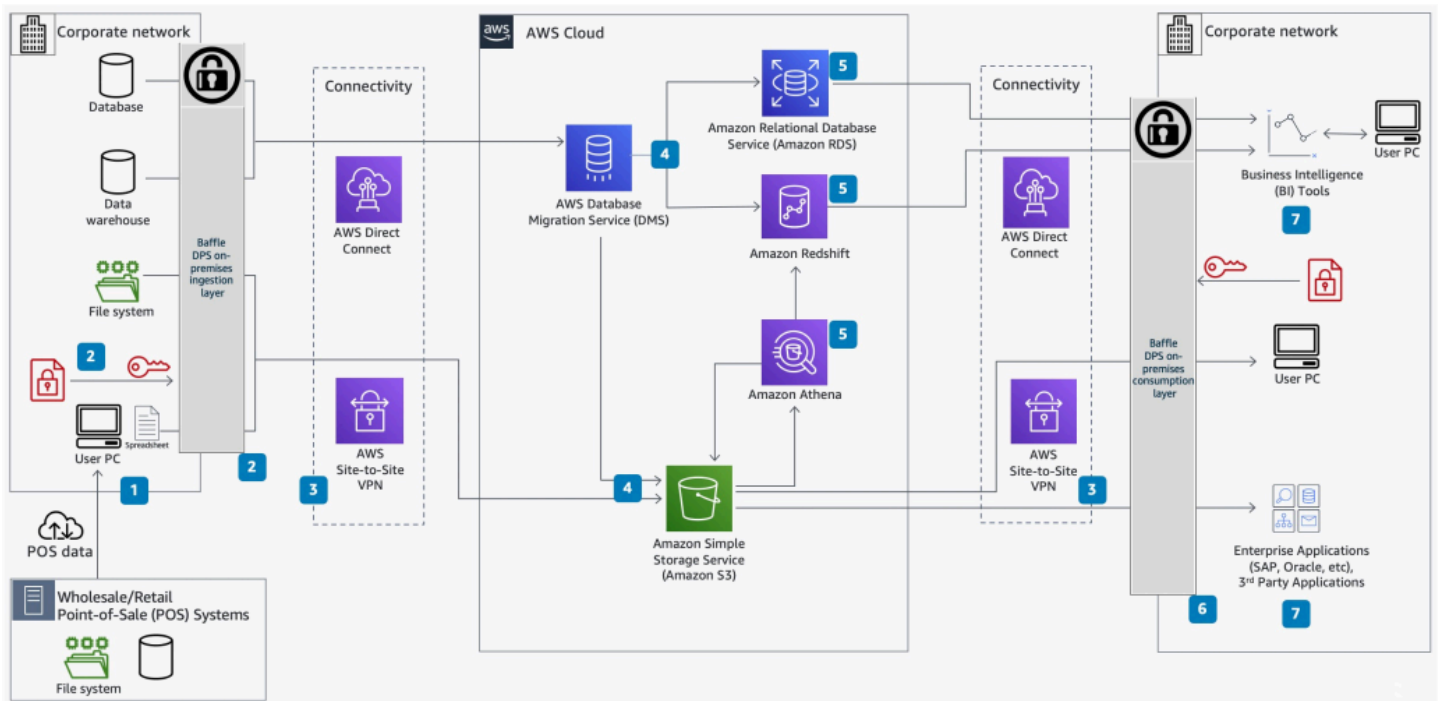
..... iii

Baffle DPS による HYOK ソリューションによるデータの保護

公開日: 2021 年 5 月 28 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャは、Baffleデータ保護サービス (DPS) を使用して Hold Your Own Key (HYOK) ソリューションを実装する方法を示しています。DPS Baffle を使用すると、データ中心の保護を追加できます AWS。

Baffle DPS による HYOK ソリューションによるデータの保護



1. End-of-day時点 (POS) point-of-sale データは、卸売および小売パートナーシステムからダウンロードされ、オンプレミスで保存されます。
2. Baffle DPS データ取り込みレイヤーは、フォーマット保存暗号化 (FPE) でオンプレミス暗号化キーを使用します。データフローを送信前にトークン化、匿名化、マッピングします AWS。
3. 専用接続 () または AWS Site-to-Site VPN は、転送中にデータを保護します。
4. 暗号化されたデータは、構造化形式または非構造化形式で、暗号化キーなしで に到着 AWS して保存されます。
5. さまざまなサービス AWS を使用して で暗号化されたデータをクエリできますが、データは暗号化されたままです。

6. Baffle DPS データ消費レイヤーは、オンプレミスの復号キーを使用します。データフローを復号化、トークン解除し、クリアテキスト形式にマッピングします。
7. クリアテキストデータは、ビジネスインテリジェンスまたはダウンストリームアプリケーションにフィードします。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)
- [AWS Key Management Service 製品ページ](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2021 年 5 月 28 日

Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。